

## 第2部会 健康・保健衛生分野

### 1 審議会での主な意見

#### ○健康づくり

- ・良い生活習慣を心がける
- ・正しい知識を持つ
- ・データの利活用（見える化）
- ・費用面で、予防接種を打たない家庭がある（健康被害<費用）
- ・健康診断を受けないのはもったいない
- ・マイナスをなくす、プラスをさらに増やす（ポジティブサイコロジー）
- ・行動するための仕掛けづくり（無関心層へのアプローチ）
- ・すみだ保健子育て総合センターに期待
- ・介護予防、認知症予防のための教室を通える場所につくる
- ・栄養バランスの取れた学校給食
- ・食の安全
- ・コロナ時のような健康危機管理体制の整備
- ・必要な情報へのアクセス、入手のしやすさ
- ・専門家同士の連携強化
- ・顔見知りの関係だと安心できる→気軽に相談できる
- ・貢献寿命（人の役に立つと感じると寿命が延びる）→おせっかい寿命

#### ○地域包括ケアシステムの充実

- ・ニーズの増加に伴う、機能の充実が課題
- ・相談窓口のアクセス、相談のしやすさ
- ・医療機関と包括の関係は良好だが、まだ繋がっていない医療機関がある
- ・地域づくり、仕組みづくり、意識づくり
- ・支援体制に若い力（人）をどのように取り入れられるか
- ・子どもが地域の高齢者を見守る（見守られて育った子が見守る側になる）
- ・防災の視点
- ・新旧民生委員間の認識の壁
- ・ケアマネジャー、相談員、ケースワーカーの連携
- ・2040年問題（独り身の高齢者の増加）
- ・終末期のサービス（死後事務など）
- ・知らない人が多い（認知度の向上）
- ・今介護の必要がない人がどう関わっていくべきか

前回の審議で出された意見・キーワードを列記。

# 保健・衛生分野についてのまとめ

## 第2部会 健康・保健衛生分野

### 2 10年後の未来予想図

#### 「ずっと健康でいられるまち」

健康に関する情報が分かりやすく提供され、気軽に参加できる場があることで、誰もが積極的に健康づくりに取り組んでいます。医療・福祉・地域・行政などのつながりの充実により、一人ひとりの年齢や特性に合った適切な支援を受けられる環境が整い、生涯にわたって健康で暮らし続けられるまちになっています。

#### ■正しい知識が健康を支える

健康長寿の実現には、健康に関心を向け、正しい知識を持ち、良い生活習慣を心がけることが重要です。最初の一步の後押しをするとともに、自発的に楽しく健康づくりに取り組めるまちをつくれます。

#### ■安心して相談できる

心や身体の悩みを相談するには、相談相手に対する信頼や安心が不可欠です。地域の中での相談しやすい関係づくりや、内容に応じて適切な相談先へとつながるしくみづくりを進めます。

#### ■連携を深め、環境を整える

関係者の連携を深め、いざという時に区民のいのちと健康を守る体制をつくれます。また、普段から、食品衛生や環境衛生水準の維持・向上を図り、保健衛生における安全と安心を確保します。